

目 次

I. 先端大学院先端学術専攻の概要	p. 1
II. 5年一貫制博士課程 出願手続き及び注意事項	p. 3
III. 博士後期課程 出願手続き及び注意事項	p. 11
IV. 各コースの問い合わせ先等	p. 24

7. 採点・評価基準及び合否判定基準

採点・評価基準： 面接、提出書類の内容を総合的に判断し、A、B、Cの3段階で評価します。

合否判定基準： 各項目の3段階評価を総合的に判断して、合否を決定します。

8. 入学者支援制度

1) 日本人学生

生理科学コースでは、日本人大学院生全員(日本学術振興会DC受給者を除く)がリサーチアシスタント(RA)として雇用され、年額約100万円が支給されます。2018年度以降に入学した学生については、入試の成績が極めて優秀な学生は年額約170万円、優秀な学生は年額約140万円で雇用されます。

また、入学者全員について入学料相当額が生理学研究所奨学金から支給されます(入学料免除を受ける場合を除く)。

2) 外国人学生

Exceptional students wishing to enter 3-year Doctoral Course at NIPS are eligible to apply for two types of NIPS scholarship. The first type covers the same as described for MEXT Scholarship.

The second one covers the following:

- Admission fee (282,000 yen, only once at the time of admission)

- A half of annual tuition fee

- Salary for Research Assistant job (1,400,000 yen per year, ca. 116,600 yen per month)

Other all students are supported as follows.

- Admission fee (282,000 yen, only once at the time of admission)

- Salary for Research Assistant job (1,000,000 to 1,400,000 yen per year, ca. 83,300 to 116,600 yen per month)

9. 上記に関する問い合わせ先

〒444-8585 岡崎市明大寺町字西郷中38

自然科学研究機構 岡崎統合事務センター 国際研究協力課 大学院係

電話 0564-55-7139

FAX 0564-55-7119

ホームページアドレス <https://www.nips.ac.jp/graduate/>

生理科学コース 担当教員の主な研究内容

最新の教員情報についてはホームページをご覧くださいか、生理科学コースの問い合わせ先にご連絡ください。

※E-mailについて:(at)は@に置き換えてください。

神経機能素子研究部門

【立山充博 准教授】イオンチャネル・受容体の動的構造機能連関と機能制御機構

イオンチャネル、受容体、G蛋白質等の膜関連機能蛋白は、神経機能の要となる精妙な素子である。その機能発揮のメカニズムを明らかにするために、分子生物学、電気生理学、光生理学の手法を用いて、リアルタイムの動的構造変化にアプローチしている。

連絡先 立山充博 TEL:0564-55-7832 / E-mail:tateyama(at)nips.ac.jp

生体膜研究部門

【深田優子 准教授】シナプス伝達の制御メカニズム

脳の興奮性神経伝達を司るAMPA型グルタミン酸受容体の動態や機能を制御する機構を下記の2点に着目して解明し、神経可塑性およびてんかんや認知症などの脳神経疾患発症のメカニズムの理解につなげる。

1.シナプス膜蛋白質ネットワークの同定と機能解析

シナプス膜蛋白質(受容体、イオンチャネル、接着分子など)は足場蛋白質、シグナル蛋白質などと複合体(ネットワーク)を形成して、その機能を遂行する。独自に開発した特異性の高い生化学的手法により、脳組織からシナプス蛋白質複合体を精製・同定する。同定したシナプス蛋白質ネットワークがシナプス伝達効率を制御する機構を分子細胞生理学的、遺伝学的手法を用いて統合的に明らかにする。

2.パルミトイル化脂質修飾機構の全容解明

翻訳後脂質修飾であるパルミトイル化は、外界刺激に反応してシナプス蛋白質のシナプス膜局在を制御し、シナプス伝達効率や細胞内情報伝達を調節する。我々は独自に発見したパルミトイル化酵素群を手がかりとして、シナプス活動に反応したAMPA受容体の動態制御機構を明らかにする。

連絡先 深田優子 TEL:0564-59-5873 / E-mail:yfukata(at)nips.ac.jp

生体分子構造研究部門(生命創成探究センター)

【村田和義 教授】クライオ電子顕微鏡を用いた生物試料の構造解析

クライオ電子顕微鏡(TITAN Krios G4, JEM2200FS等)、Cryo-FIB-SEM(Aquilos2)を用いて、単粒子解析、トモグラフィ解析等により、細菌、ウイルス、細胞内オルガネラ、膜タンパク質、タンパク質分子複合体の高分解能三次元構造解析を行う。試料の作製には、氷包埋法、ネガティブ染色法、凍結切片法、樹脂包埋法などを用いる。その他、電子顕微鏡データ収集および画像解析の自動化、光顕-電顕相関観察等の研究も行っている。(www.nips.ac.jp/struct)

連絡先 村田和義 TEL:0564-55-7893 / E-mail:kazum(at)nips.ac.jp

細胞構造研究部門

【古瀬幹夫 教授】【泉裕士 准教授】上皮バリア機能と傍細胞経路輸送の研究

私たちの研究室では、体の多くの器官の構築と機能に関わる上皮のはたらき、ふるまいに興味をもって研究を進めている。とりわけ体内環境の恒常性維持に関わる上皮のバリア機能と傍細胞経路輸送の制御機構を分子レベルで解き明かすことを目標としている。そのために上皮の細胞間接着装置に着目し、その構成分子や機能制御分子を同定し、培養上皮細胞やモデル動物を用いて機能を明らかにする。形態学、分子細胞生物学、生理学の手法を組み合わせることにより解析を進めている。

連絡先 古瀬幹夫 TEL:0564-59-5277 / E-mail:furuse(at)nips.ac.jp

泉裕士 TEL:0564-59-5279 / E-mail:yizumi(at)nips.ac.jp

細胞生理研究部門(生命創成探究センター)

【曾我部隆彰 准教授】【丸山健太 准教授】感覚受容の分子機構の解明

TRPチャンネルを中心として温度受容・痛み刺激受容・味刺激受容等の感覚受容の分子機構の解明を目指して主に電気生理学的手法、分子生物学的手法を適用して研究を進めている。遺伝子改変マウスを用いた個体レベルの解析も行っている。また、生物は進化の過程で環境温度の変化に対して温度感受性をダイナミックに変化させて適応してきたと考えられ、温度感受性TRPチャンネルの進化解析を進めている。さらに、ショウジョウバエを用いた行動解析を通して、温度受容や物理刺激応答に関わる脂質遺伝子の探索と生理機能の解析を進めている。新しい昆虫忌避剤や殺虫剤の探索も行っている。

連絡先 曾我部隆彰 TEL: 0564-59-5287 / E-mail: sokabe(at)nips.ac.jp

丸山健太 TEL: 0564-59-5296 / E-mail: maruken(at)nips.ac.jp

心循環シグナル研究部門(生命創成探究センター)

【西田基宏 教授】【西村明幸 准教授】心血管組織の恒常性維持と変容の分子機構の解明

頑健な心血管組織が血行力学的負荷に対して適応・不適応する機構を、ミトコンドリア動態機能変化や病態特異的なタンパク質複合体形成に着目して解析している。疾患モデルマウスや摘出臓器を用いた心血管機能解析、共培養系を用いたシグナル解析、ケミカルバイオロジーを駆使したタンパク質の翻訳後修飾解析により、心循環恒常性維持にかかわる筋細胞がストレス抵抗性を高める機構を解明し、そこから健康長寿に資する革新的な医療戦略の構築を目指す。

連絡先 西田基宏 TEL:0564-59-5560 / E-mail:nishida(at)nips.ac.jp

西村明幸 TEL:0564-59-5563 / E-mail: aki(at)nips.ac.jp

分子神経免疫研究部門

【村上正晃教授】【長谷部理絵 准教授】神経免疫連関による炎症疾患病態誘導の分子機構

北海道大学、量子科学技術研究開発機構とのクロスアポイントメントにて本研究部門を主宰する村上正晃教授は、長谷部准教授と共同でIL-6サイトカインと自己反応性CD4+T細胞がどのように組織特異的自己免疫疾患を誘導するかを研究し、神経-免疫連関の新たなコンセプトであるゲートウェイ (G) 反射を発見した(Cell, 148, 447-, 2012など)。6つのG反射が発見されたが、重力、痛み、ストレス、光、炎症などの環境刺激により特定の神経回路が活性化することにより、中枢神経系を含め血液関門を有する臓器の特定部位の血管で血中の自己反応性CD4+ T細胞存在が集積し、局所炎症が誘導される。また、G反射がどのように血管透過性を上昇させるかもIL-6アンブコンセプトから証明した(Immunity, 50, 812-, 2019, Immunity, 29, 628-, 2008)。分子神経免疫研究部門では、新たなG反射の発見と、既知のG反射の詳細な神経回路をはじめとする分子機構の解明、さらにIL-6アンブによる炎症誘導機構の解明を目的に研究を行っている。

連絡先 長谷部理絵 TEL:0564-55-7729 / E-mail:hasebe(at)nips.ac.jp

*村上正晃教授は主任指導教員として受け入れできないため、長谷部理絵准教授が主任指導教員として受け入れます。

生体恒常性発達研究部門

【鳴島円 准教授】発達/障害/環境による神経回路機能の再編成とグリアによる制御

発達期、学習時、睡眠時などの生理的条件下や病態モデルを用いて、神経回路の再編成のメカニズムについて特にグリア細胞の機能に着目して研究を行っている。感覚情報処理や情動に関連する脳部位において、最先端2光子励起レーザー顕微鏡を用いた神経細胞やグリアの生体内イメージングと光による活動操作法、スライスパッチクランプ法などの電気生理学手法、分子生物学的手法を利用して研究している。

連絡先 鳴島円 TEL: 0564-55-7854 / E-mail: narumado(at)nips.ac.jp

視覚情報処理研究部門

【吉村由美子 教授】大脳皮質視覚野の機能・発達の神経回路基盤

大脳皮質の情報処理や発達の神経回路メカニズムを明らかにすることを旨とし、主に視覚野を対象に研究を行っている。スライスパッチクランプ法にケージド試薬・光遺伝学を組み合わせた神経回路解析や越シナプストレーサーによる形態学的解析

を行い、選択的なシナプス結合による神経回路の特性、標的分子認識や生後の経験に依存した回路形成機構についての研究を進めている。また、個体動物を対象にした電気生理学的解析や2光子Ca²⁺イメージングにより視覚反応を記録し、生後の視覚経験や弁別学習により視覚機能がどのように調整されるかについても解析している。

連絡先 吉村由美子 TEL: 0564-55-7731 / E-mail:yumikoy(at)nips.ac.jp

バイオフィotonics研究部門(生命創成探究センター)

【根本知己 教授】【榎木亮介 准教授】先端光イメージング、生体リズム、冬眠の神経基盤

非線形光学、レーザー、ナノ材料等の先端技術を駆使した光学イメージングを独自に開発している。特に、世界最先端の、超深部・超解像・長期イメージングを駆使することにより、神経回路や神経細胞、グリア細胞の活動、開口放出などにおいて、微細形態やシグナル分子の定量的な可視化解析を通じて、生体リズムや冬眠などを含む生理機能の創発原理やその分子基盤の理解を目指している。また、がんや疾患の動物モデルや植物生理学への応用も推進している。(www.nips.ac.jp/bp/)

連絡先 根本知己 TEL: 0564-59-5257 / E-mail:tn(at)nips.ac.jp

榎木亮介 TEL: 0564-59-5258 / E-mail:enoki(at)nips.ac.jp

多細胞回路動態研究部門

【和氣弘明 教授】中枢神経系多細胞回路の生理機能計測と操作

多細胞回路動態研究部門は、中枢神経系の神経細胞とグリア細胞で成り立つ多細胞回路基盤の高次脳機能に対する生理的機能を明らかにすることを目的として、研究を行っている。そのためにマウスの行動につながる神経回路に関与するグリア細胞の生理的機能を検討し、これを病態につなげることを目指す。これまでの2光子顕微鏡による可視化技術に加えて、更に我々が開発したホログラフィック顕微鏡の生物応用を進め、神経細胞間の機能結合やそれを担うトランスクリプトームに着目して、ホログラフィック刺激・計測を用いることで局所神経回路の評価に取り組みとともに、これによって動物の高次脳機能を操作することを目指す。

連絡先 和氣弘明 TEL: 0564-55-7724 / E-mail:hirowake(at)nips.ac.jp

認知行動発達機構研究部門

【磯田昌岐 教授】社会的認知機能の神経メカニズムの解明

社会的な認知機能の神経メカニズムを解明するため、サルをモデル動物とするシステム神経科学研究をおこなっている。具体的には、自己と他者の区別、他者の行動モニタリングとそれに基づく自己の行動決定、自己と他者の比較などの認知機能側面に着目し、それらを可能にする神経メカニズムを行動実験、神経生理実験、神経薬理実験、ウイルスベクターを用いた神経路選択的活動操作などを組み合わせて明らかにする。また、高次脳機能のゲノム基盤の解明(認知ゲノミクス)、精神・神経疾患の霊長類モデルの作出、及び、モデル動物を用いた病態メカニズムの解明にも取り組んでいる。

連絡先 磯田昌岐 TEL: 0564-55-7761 / E-mail:isodam(at)nips.ac.jp

神経ダイナミクス研究部門

【北城圭一 教授】神経ダイナミクスの機能的役割の解明

ヒトや動物の脳神経活動は振動、同期などの多様な非線形ダイナミクスを見せる。EEG、MEG、ECoG、fMRI、非侵襲脳刺激を組み合わせたヒト実験、及び、ヒトに加えて他の動物を含む脳神経活動と自律神経系を反映する生体信号の非線形動力学、情報理論、ネットワーク解析、統計的機械学習に基づいたデータ解析と、数理モデル化を行い、脳と身体の情報処理の統合的な理解を目指す。これにより知覚、認知、運動、情動、社会性機能等のさまざまな脳機能のメカニズム、個人特性や病態の理解を進める。また、神経ダイナミクスに着目した新規なブレインマシンインターフェイスや人工知能技術の開発を目指す。

連絡先 北城圭一 TEL:0564-55-7751 / E-mail: kkitajo(at)nips.ac.jp

感覚認知情報研究部門

【竹村浩昌 教授】機能的・構造的脳マッピングによる感覚・認知情報処理機構の研究

主に生理学研究所が保有する磁気共鳴(MR)装置を用いて、脳構造および脳活動の計測・分析を行い、脳の構造と脳の機能がどのように関連しているのかを解明する研究に取り組んでいる。またヒト健常例を対象とした研究にとどまらず、動物モデルを対象としたMR脳計測データの評価や眼科疾患などの症例における脳データ解析にも取り組んでいる。

連絡先 竹村浩昌 TEL:0564-55-7861 / E-mail:htakemur(at)nips.ac.jp

動物資源共同利用研究センター

【西島和俊 教授】実験モデル動物の開発と特性解析

科学的に意義のある動物実験を実施するには、動物に対する知識や飼育環境の適正化が不可欠である。動物資源共同利用研究センターでは、獣医学、実験動物学的見地より、各動物種(特にウサギ)に適応した実験手法(モデル開発と特性解析)、系統保存方法、飼育管理方法の開発を推進している。

連絡先 西島和俊 TEL:0564-55-7781 / E-mail:kanish(at)nips.ac.jp

脳機能計測・支援センター 多光子顕微鏡室

【村越秀治 准教授】2光子励起顕微鏡による生体・組織深部微細構造・シグナル動態の可視化解析

本研究室では、生きた動物の脳内や脳組織内のシグナル分子(タンパク質)の動態を多光子蛍光寿命イメージング顕微鏡(2光子FRETイメージング顕微鏡)や光操作法を用いて直接可視化・操作する。特に、記憶に関与する分子の動態を見るためのプローブを独自開発・応用することにより、脳内で起こる記憶の形成過程を可視化している。記憶学習の過程で起こる生化学反応を直接「見て操作」することにより、記憶の実体を明らかにしたいと考えている。

連絡先 村越秀治 TEL:0564-55-7857 / E-mail:murakosh(at)nips.ac.jp

脳機能計測・支援センター 生体機能情報解析室

【福永雅喜 教授】超高磁場MRIによる新規計測法開発とヒト脳の機能構造関連解析

磁気共鳴法(magnetic resonance: MR)は、生体の構造、機能、代謝、分子動態を非侵襲的に観察できる優れた計測技術である。当部門では、脳を対象に、3テスラMRI、7テスラ超高磁場MRIを用いたイメージングおよび分光法を駆使し、ヒト脳の構造と機能の関連について研究を進めるとともに、生体パラメータ収集のための新規計測法を開発する。また、脳画像による疾患理解を目的に、多施設臨床共同研究に参画し、ビッグイメージングデータ解析から精神疾患のエンドフェノタイプ、バイオマーカー探索を推進している。

連絡先 福永雅喜 TEL:0564-55-7842 / E-mail:fuku(at)nips.ac.jp

行動・代謝分子解析センター ウイルスベクター開発室

【小林憲太 准教授】高効率な遺伝子導入ウイルスベクターシステムの開発と大脳基底核回路による運動調節機構の解析

脳機能は、複雑な神経回路網によって制御されている。脳機能を理解するには、神経回路網を構成する特定神経路の作用を解明する必要がある。我々は、アデノ随伴ウイルスベクターやレンチウイルスベクターを利用して、特定神経路においてより効率的に目的遺伝子を発現誘導するシステムの開発に取り組んでいる。また、独自開発したウイルスベクターシステムを駆使して、大脳皮質-大脳基底核ループを形成する特定神経路の機能を解析している。こうした解析によって、大脳皮質-大脳基底核ループによる運動調節のメカニズムを理解したいと考えている。

連絡先 小林憲太 TEL:0564-55-7827 / E-mail:kobaya(at)nips.ac.jp

また、生理学研究所客員研究部門の研究に参加することもできます。

研究内容の詳細については下記にお問い合わせください。

または、本コースのホームページ[<http://www.nips.ac.jp>]を御覧ください。

問合せ先:生理学研究所 生体分子構造研究部門 村田和義
TEL:0564-55-7893 / E-mail: kazum(at)nips.ac.jp

IV. 各コースの問い合わせ先等について

各コースのウェブサイト参照のうえ、各コースの概要、授業科目、各教員の教育研究内容をよく確認してください。

生理科学コース	
コース担当事務	自然科学研究機構 生理学研究所 〒444-8585 岡崎市明大寺町字西郷中38 担当係:岡崎統合事務センター総務部国際研究協力課大学院係 電話:0564-55-7139 FAX:0564-55-7119 E-mail:r7139@orion.ac.jp
指導教員一覧	https://www.nips.ac.jp/graduate/teachers.html

人類文化研究コース	
コース担当事務	人間文化研究機構 国立民族学博物館 〒565-8511 大阪府吹田市千里万博公園10番1号 担当係:研究協力課 研究協力係(大学院担当) 電話:06-6878-8236 FAX:06-6878-8479 E-mail:souken@minpaku.ac.jp
指導教員一覧	https://www.minpaku.ac.jp/education/university_next20/outline/supervisor

国際日本研究コース	
コース担当事務	人間文化研究機構 国際日本文化研究センター 〒610-1192 京都府京都市西京区御陵大枝山町3-2 担当係:研究協力課研究支援係(大学院担当) 電話:075-335-2052 E-mail:senkou@nichibun.ac.jp
指導教員一覧	https://www.nichibun.ac.jp/ja/education/faculty/

日本歴史研究コース	
コース担当事務	人間文化研究機構 国立歴史民俗博物館 〒285-8502 千葉県佐倉市城内町 117 番地 担当係:研究協力課 研究教育係 (平日 9:00~12:00 及び 13:00~17:00) 電話:043-486-4361 E-mail:soken@ml.rekihaku.ac.jp
指導教員一覧	https://www.rekihaku.ac.jp/education_research/education/graduate_school/soukenda/people/teacher.html

日本文学研究コース	
コース担当事務	人間文化研究機構 国文学研究資料館 〒190-0014 東京都立川市緑町 10-3 担当係:総務課 教育支援係 電話:050-5533-2915 E-mail:edu-ml1@nijl.ac.jp
指導教員一覧	https://www.nijl.ac.jp/education/university/information/supervisor.html

日本語言語科学コース	
コース担当事務	人間文化研究機構 国立国語研究所 〒190-8561 東京都立川市緑町10-2 担当係:研究推進課 大学院教育担当 電話:042-540-4374 E-mail:gs-edu@ninjal.ac.jp
指導教員一覧	https://www.ninjal.ac.jp/education/soken/course/supervisor/

情報学コース	
コース担当事務	情報・システム研究機構 国立情報学研究所 〒101-8430 東京都千代田区一ツ橋2-1-2 担当係:総務部企画課国際・教育支援チーム 電話:03-4212-2110 E-mail:daigakuin@nii.ac.jp
指導教員一覧	https://www.nii.ac.jp/graduate/about/advisor/

統計科学コース	
コース担当事務	情報・システム研究機構 統計数理研究所 〒190-8562 東京都立川市緑町10-3 担当係:立川共通事務部 総務課 大学院係 電話:050-5533-8514 E-mail:sokendai-toukei-nyushi@t.rois.ac.jp
指導教員一覧	https://www.ism.ac.jp/senkou/subject/teacher.html

素粒子原子核コース	
コース担当事務	高エネルギー加速器研究機構 素粒子原子核研究所 〒305-0801 茨城県つくば市大穂1-1 担当係:研究協力部 研究協力課 大学院教育係 電話:029-864-5128(直通) E-mail: kyodo2@mail.kek.jp
ウェブサイト	https://www2.kek.jp/ipns/ja/education/graduate_school/ps_course/

加速器科学コース	
コース担当事務	高エネルギー加速器研究機構 加速器研究施設/共通基盤研究施設 〒305-0801 茨城県つくば市大穂1-1 担当係:研究協力部 研究協力課 大学院教育係 電話:029-864-5128(直通) E-mail: kyodo2@mail.kek.jp
ウェブサイト	https://www2.kek.jp/accl/sokendai/

天文科学コース	
コース担当事務	自然科学研究機構 国立天文台 〒181-8588 東京都三鷹市大沢 2-21-1 担当係:事務部 研究推進課 大学院係 電話:0422-34-3659 E-mail:daigakuin@nao.ac.jp
指導教員一覧	https://guas-astronomy.jp/Supervisors/index.html

核融合科学コース	
コース担当事務	自然科学研究機構 核融合科学研究所 〒509-5292 岐阜県土岐市下石町 322-6 担当係:管理部研究支援課 大学院連携係 電話:0572-58-2042 FAX:0572-58-2603 E-mail:daigakuin@nifs.ac.jp
指導教員一覧	https://soken.nifs.ac.jp/about/faculty

宇宙科学コース	
コース担当事務	宇宙航空研究開発機構(JAXA) 宇宙科学研究所 〒252-5210 神奈川県相模原市中央区由野台3-1-1 担当係:科学推進部学生担当 電話:042-759-8012 FAX:042-759-8443 E-mail: sokendai@ml.jaxa.jp
指導教員一覧	https://www.isas.jaxa.jp/sokendai/about/staff/

分子科学コース	
コース担当事務	自然科学研究機構 分子科学研究所 〒444-8585 岡崎市明大寺町字西郷中38 担当係:岡崎統合事務センター総務部国際研究協力課大学院係 電話:0564-55-7139 FAX:0564-55-7119 E-mail:r7139@orion.ac.jp
指導教員一覧	https://www.ims.ac.jp/education/group_list.html

物質構造科学コース	
コース担当事務	高エネルギー加速器研究機構 物質構造科学研究所 〒305-0801 茨城県つくば市大穂1-1 担当係:研究協力部 研究協力課 大学院教育係 電話:029-864-5128(直通) E-mail: kyodo2@mail.kek.jp
ウェブサイト	https://www2.kek.jp/imss/education/sokendai/

総合地球環境学コース	
コース担当事務	人間文化研究機構 総合地球環境学研究所 〒603-8047 京都府京都市北区上賀茂本山457-4 担当係:総務部 総務企画課(総研大担当) 電話:075-707-2152 E-mail:gakumu@chikyu.ac.jp
指導教員一覧	https://www.chikyu.ac.jp/rihn/education/about/

極域科学コース	
コース担当事務	情報・システム研究機構 国立極地研究所 〒190-8518 東京都立川市緑町10-3 担当係:立川共通事務部 総務課 大学院係 電話:050-5533-8645 E-mail:sokendai-kyokuiki@t.rois.ac.jp
指導教員一覧	https://www.nipr.ac.jp/soken/teacher/

基礎生物学コース	
コース担当事務	自然科学研究機構 基礎生物学研究所 〒444-8585 岡崎市明大寺町字西郷中38 担当係:岡崎統合事務センター総務部国際研究協力課大学院係 電話:0564-55-7139 FAX:0564-55-7119 E-mail:r7139@orion.ac.jp
指導教員一覧	https://www.nibb.ac.jp/sections/sokendai.html

遺伝学コース	
コース担当事務	情報・システム研究機構 国立遺伝学研究所 〒411-8540 三島市谷田1111 担当係:管理部 総務企画課 大学院担当 電話:055-981-6720 FAX:055-981-6715 E-mail:info-soken@nig.ac.jp
指導教員一覧	https://www.nig.ac.jp/nig/ja/phd-program/faculty

統合進化科学コース	
コース担当事務	統合進化科学研究センター 〒240-0193 神奈川県三浦郡葉山町(湘南国際村) 担当係:総務課 統合進化科学センター事務係 電話:046-858-1595, 1577 FAX:046-858-1544 E-mail:hayamajimu@ml.soken.ac.jp
指導教員一覧	http://www.esb.soken.ac.jp/research/index.html